



私がご紹介  
します



浜岡原子力発電所  
原子力研修センター  
実務研修グループ 主任  
大石 弘文

# 浜岡原子力発電所には こんな施設もあります

浜岡原子力発電所では「原子力研修センター」内に  
「失敗に学ぶ回廊」を設けています。その内容をご紹介します。

失敗に学ぶとは、  
どういうことかな？



センターには原子炉の起動・停止といった運転訓練用のシミュレータなどさまざまな施設がありますが、その一つが、平成15年に設置した「失敗に学ぶ回廊」です。

「原子力研修センター」を設けています。  
所では、安全性と信頼性をより高めるために、さまざまな訓練や研修を行います。

なぜ起きたのか？  
事故の原因を解説  
しています

浜岡原子力発電



過去を教訓に  
将来へ技術を伝承

事故を起こした実際の  
部品なども展示しています  
(1号機 余熱除去系配管破断事故)



「失敗に学ぶ回廊」は、過去のトラブルから学んだ教訓、これまでに蓄積してきたノウハウを、「風化させることなく、将来に技術を伝承していく」ため、過去に発生した失敗事例・原因などを紹介し、研修に活用するための施設です。

失敗事例の展示や  
解説から学ぶ

「失敗事例を学ぶ」ゾーンでは、パネルを使って事故発生当時の状況や原因について紹介する他、事故を起こした実際の部品や模型などを併せて展示するなど、再発防止に役立っています。

また、「失敗事例の解説」ゾーンでは、原因を深く掘り下げ、改善策の変遷について解説。危機管理に対する意識を向上させ、原点に返り過去の事故例から学び直す場として活用しています。

実物を見ると  
「もう失敗しないぞ」  
という気持ちをも  
強く感じるね



福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



みんなで語り合う  
車座の間

回廊の真ん中には、失敗事例に学んだことを、みんなで膝をつき合わせて語り合う「車座の間」と

とことん  
議論することで  
発見があります



車座の円周は  
5号機の原子炉と  
同じ大きさなんだって



呼ばれる場所があります。若手社員への技術伝承や国内外の電力会社の方との意見交換の場として活用し、ディスカッションを通じて、より理解を深める取り組みを進めています。

ほかにも回廊では、事故当時、

対応に関わったOB社員からのメッセージや地域とともに発展してきた浜岡原子力発電所の歩みなども紹介しています。中には、失敗学の権威である畑村洋太郎先生が書かれた「人は電気なしには生きられない、人は誰でも間違える」という色紙の展示も。人に間違いはつきもので

あるという戒めと、「失敗」を今後の糧にしていくことの重要性を、この言葉が教えてくれています。

失敗学を提唱

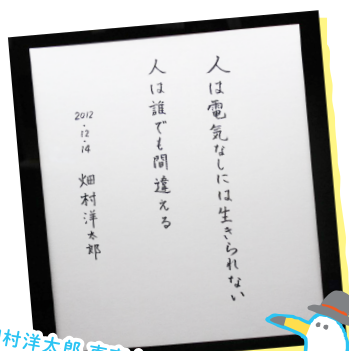
失敗学とは、失敗の原因を究明し、その防止策を考え、得られた知識を社会に広めるための学問。著書では、正しい失敗の伝え方、生かし方を紹介しています



著書「失敗学のすすめ」



東京大学名誉教授  
畑村洋太郎 先生



畑村洋太郎、東京大学  
名誉教授の色紙



「最後は人」  
だからこそ、  
技術の継承を  
大切にしたい



浜岡原子力発電所では、過去の失敗を無駄にせず、その経験を教訓として次世代へしっかりと引き継ぐことで、事故の再発防止を図り、発電所の安全な運転に努めています。

最先端の技術を用いて工事を進めるなど、施設・設備面での安全対策は当然のことですが、やはり、「最後は人」にかかってきます。だからこそ、常にリスクと向き合い失敗に学びながら、人から人への技術の継承に徹底的に取り組んでいます。今後も、社会の皆さまにご安心いただけるよう、たゆまず努力を続けていきます。

かもしろうの発見!



「人は間違えるもの」  
を前提とした教育が  
安全性を高めること  
につながるんだね。



中部電力

広報部 コミュニケーション推進グループ お問い合わせ:052-951-8211 平日9:00~17:00(土日祝、12/29~1/3は除く)